



第1講 「旭山動物園裏側体験」活動報告

令和元年度のチャレンジクラブは、志比内小1名・忠栄小5名・東神楽小19名・東聖小20名、合計45名の会員でスタートします。「楽しく遊び、仲良く学ぼう」をテーマに町内4校の小学校会員が力を合わせて活動していきましょう。意義のある活動になるよう職員一同全力で取り組んでいきます。

今年最初の活動は、昨年に引き続き「旭山動物園裏側体験」です。絶好の天気で、少し汗ばむ気温でした。予定通りの活動を行うことができました。

それでは、第1講の活動の様子を報告します。



動物園教育係担当者の佐賀さんの案内で、カバ舎の裏側を見学することが出来ました。カバ舎の中は、ムツとする刺激臭がありましたが、臭いは、体調を把握するための大切な情報源であるそうです。ちなみに、一番臭いがきついのは人間なのだそうです。カバの皮膚は薄く毛がないため、日中はほとんど水の中にいるそうです。オスは、縄張り意識が強く水槽の周りにマーキングをするそうです。そのことで、落ち着くということです。カバ舎は、とてもきれいに管理されていました。飼育員さんたちの手入れが行き届いていると思いました。佐賀さんは、最後に動物の絶滅の危機について話してくれました。「動物にとってやさしい世界、明るい未来を創っていききたい。そのためには、人間が自分勝手な行動をせずに個人にできることを考え実行してほしい。」未来を創っていくのは、子どもたちです。人間だけでなく、地球全体の環境を考えられる大人になってほしいと改めて思いました。



昼食は、無料休憩所で食べました。外で食べているグループもありました。実においしそうに食べていました。

暑かったせいか、かき氷を食べている子どもたちが大変多かったです。



第2講「十勝岳防災教室」は、6月29日(土)です。多くの会員が参加してくれることを楽しみに待っています。

園内の見学は、グループで行いました。多くの動物を観察したり、スタンプを集めたり、みんな歩き疲れた様子でしたが元気いっぱい活動してくれました。